

職位/Position：教授 教員氏名/ Name：大塚正美	オフィスアワー/Office hours 火曜日3限、木曜日3限	研究室/Office number F 315
教員の所属学会並びに社会活動・課外活動顧問など/Affiliated Academic Society & Social Activity 日本体育学会、日本教師教育学会、日本レジャー・レクリエーション学会、ランニング学会、陸上競技部顧問、大網白里市スポーツ振興審議委員、神栖市スポーツ振興審議委員		
ゼミ名/Seminar スポーツ・健康がもたらす社会貢献		
2年次までに修得していることが望ましい科目/ Preferable courses should be taken before the end of second-year studies スポーツ科学II、体育史、生涯スポーツ概論、スポーツ社会学、スポーツ心理学、運動生理学		
研究指導内容とその進め方/Teaching system and content I. 初年度（3年次）/First year(third-year students) 春学期は、個人のテーマを健康やスポーツから選択しレポート（5,000文字）を作成する。レポート作成後、各10分間のプレゼンテーションを行う。秋学期は、グループワークを健康やスポーツをキーワードにして、地域貢献や町おこし・村おこしのテーマを選択しレポート（5,000文字）を作成する。レポート作成後、各10分間のプレゼンテーションを行う。授業の始めに、一般教養や教職教養・保健体育専門の勉強会を行う。		
II. 次年度（4年次）/Second year (fourth-year students) 随時、教養的な小テストで教養力を養います。そして、3年次に行ったレポートを土台として、健康とスポーツについて研究を行います。健康の意義やスポーツの求められている社会的な貢献を具体的に学び論文としてまとめます。また、学園祭に参加し模擬店等で企画・運営等の実体験やゼミ内発表会を行う。		
III. 卒業論文の指導、その他指導について/Graduation thesis guidance and others 研究成果を卒業論文にまとめる。レポート作成時はパソコンを使用する作業となります。レポート、卒業論文のゼミ発表時はパワーポイントを使用する発表（発表時間12分）を行う。		
教科書、参考書などについて/Textbooks, reference books 生涯スポーツ概論（大塚正美著東京図書出版2017年6月13日）健康・スポーツ科学の基礎知識（スポーツサンエンスフォーラム編和同書院平成20年5月1日）テキスト総合型地域スポーツクラブ（日本体育大修館書店2002年12月10日市町村の都市計画1、2、3日（笠端著共立出版社1997年6月25日）セルフコーチ・ランニング（大塚美著文芸社2013年11月15日）		
ゼミライフ：(合宿、ゼミ会等)/Seminar activities(meetings, training camps) ゼミ生の自主的な企画と協力で、地域研究として夏季のキャンプと冬季のスキーを行います。		
ゼミ生に対する要望・注意等/Requests, comments 健康やスポーツに関して強い興味と関心を持っている者が好ましいです。さらに、その健康とスポーツを多角的に多くの人に伝えられる情熱を持っている学生であることを望みます。スポーツに係る関係から、積極的な授業参加や無遅刻・無欠席の出席状態なども十分に自覚して欲しいと思います。		